



東日本
大震災
津波

3.11

復興支援ありがとう

THANK YOU FROM IWATE

震災から10年 復興支援感謝発信

岩手の復興の姿

東日本大震災津波の概況・被害状況

東日本大震災津波の概況 (岩手県災害対策本部調べ)

●名称<発生日時>

東日本大震災津波<平成23年3月11日(金)14時46分頃>

※地震による震災の名称について、政府は「東日本大震災」としていますが、岩手県では「東日本大震災津波」と表記することとしています。

●震央地

三陸沖・牡鹿半島の東南東約130km付近(北緯38°06.2'／東経142°51.6')

●震源の深さ・規模

24km・マグニチュード9.0(モーメントマグニチュード)

●本県の最大震度

震度6弱

大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市、藤沢町
(発生当時の市町村)

●津波の最大波

[宮古]11日15時26分 8.5m以上

[釜石]11日15時21分 4.2m以上

[大船渡]11日15時18分 8.0m以上

[久慈港]8.6m(推計値)

岩手県における被害状況 死者数・行方不明者数・家屋倒壊数 (令和2年7月31日現在)

洋野町

[痕跡高] 洋野・久慈北海岸12.0m

家屋倒壊数…26棟



久慈市

[痕跡高] 久慈湾13.7m

死者数…3人
行方不明者数…2人
家屋倒壊数…278棟



岩泉町

[痕跡高] 岩泉海岸20.2m

死者数…10人
家屋倒壊数…200棟



大槌町

[痕跡高] 大槌湾15.1m

死者数…856人
行方不明者数…417人
家屋倒壊数…4,167棟



釜石市

[痕跡高] 両石湾22.6m

死者数…994人
行方不明者数…152人
家屋倒壊数…3,656棟



大船渡市

[痕跡高] 綾里湾23.8m

死者数…422人
行方不明者数…79人
家屋倒壊数…3,938棟



陸前高田市

[痕跡高] 広田湾18.3m

死者数…1,606人
行方不明者数…202人
家屋倒壊数…4,047棟



野田村

[痕跡高] 野田湾21.4m

死者数…39人
家屋倒壊数…479棟



普代村

[痕跡高] 普代海岸18.4m

行方不明者数…1人



田野畑村

[痕跡高] 田野畑海岸23.0m

死者数…17人
行方不明者数…15人
家屋倒壊数…270棟



宮古市

[痕跡高] 重茂海岸21.8m

死者数…475人
行方不明者数…94人
家屋倒壊数…4,005棟



山田町

[痕跡高] 船越湾19.0m

死者数…687人
行方不明者数…145人
家屋倒壊数…3,167棟



内陸部

死者数…34人／行方不明者数…5人
家屋倒壊数…1,846棟

本県全体

死者数…5,143人／行方不明者数…1,112人
家屋倒壊数…26,079棟

※死者数は、直接死(岩手県警調べ)及び関連死(岩手県復興局調べ)。

※家屋倒壊数は、全壊及び半壊数。

※痕跡高は、堤防付近での測定値(「岩手県沿岸における海岸堤防高さの設定について」による)。

10km

●産業被害額 (平成23年11月25日現在)

○農林業	984億円
○水産業、漁港	5,649億円
○商工業	1,335億円
○観光業(宿泊施設)	326億円
○合計	8,294億円

●公共土木施設被害額 (平成23年7月25日現在)

○河川、海岸、道路等施設	1,723億円
○公園施設	405億円
○港湾関係施設	445億円
○合計	2,573億円

●津波浸水範囲の土地利用構成率

田	その他の農用地	森林	建物用地
17%	4%	9%	34%

平成23年4月18日国土地理院

「津波浸水範囲の土地利用別 面積について」による

●推定資本ストック被害額・被害率 (単位:10億円)

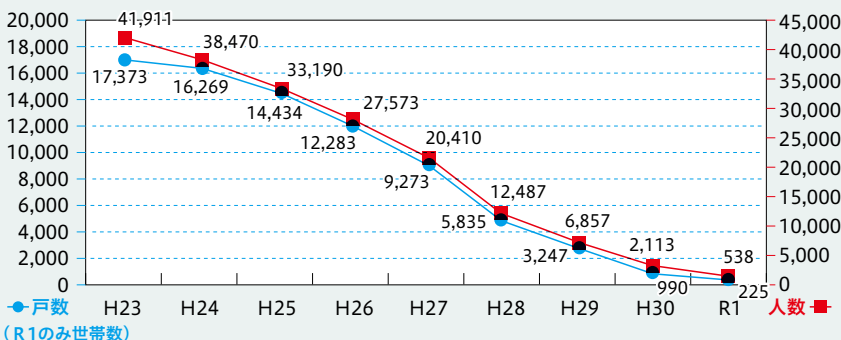
東日本大震災津波により、推定換算で岩手県の1年分のGDPが失われ、沿岸部では半分の資本ストックが被害にあいました。

		推定資本 ストック A	推定資本ストック被害額				被害率 B/A	GDP値 C	被害額が GDPに 占める割合 B/C
			生活・社会 インフラ	住宅	製造業	その他			
岩手県	内陸部	26,369	457	22	64	211	754	4,255	1.0年分
	沿岸部	7,449	1,943	607	191	781	3,522		
	合計	33,818	2,400	629	255	992	4,276		

※ 推定資本ストック被害額及び被害率については、株式会社日本政策投資銀行推計(平成23年4月28日)

※ GDP値は、「平成21年度の県民経済計算について」(平成24年2月29日 内閣府経済社会総合研究所国民経済計算部)による

●応急仮設住宅等への入居状況 (令和2年3月31日現在)



復興推進の基本方向

ビルド バック ベター
三陸のより良い復興(Build Back Better)の実現に向けた取組を推進しています。

復興の目指す姿

いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造

復興の推進に当たって重視する視点

- 1 参画 ~若者・女性などの参画による地域づくりを促進します~
- 2 交流 ~人やモノの交流の活発化による創造的な地域づくりを促進します~
- 3 連携 ~多様な主体が連携し、復興などの取組を推進します~

「より良い復興 ~4本の柱～」と取組方向



I 安全の確保

津波により再び人命が失われることのないよう、多重防災型まちづくりや災害に強いライフラインの構築などにより、災害に強く安全で安心な暮らしを支える防災都市・地域づくりを推進します。

また、災害に強い交通ネットワークを構築し、住民の安全を確保します。



II 暮らしの再建

住宅や仕事の確保など、被災者一人ひとりの生活の再建を図ります。

また、医療・福祉・介護体制など生命と心身の健康を守るシステムや教育環境の再構築、地域コミュニティ活動への支援などにより、地域における生活の再建を図ります。



III なりわいの再生

生産者や事業者が意欲と希望を持って生産・事業活動を行えるよう、生産体制の構築、金融面や制度面の支援などにより、農林水産業、商工業など地域産業の再生を図ります。

また、地域の特色を生かした商品やサービスの創出、高付加価値化や生産性向上などの取組を促進するほか、新たな交通ネットワークによる物流効果を生かして地域経済の活性化を図ります。



IV 未来のための伝承・発信

日本を代表する震災津波学習拠点として東日本大震災津波伝承館を整備し、東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を伝承し、その教訓を防災文化の中で培っていきます。

また、復興の姿を国内外に発信することにより、将来にわたり復興への理解を深めていきます。

復興の歩み

▶ H23(2011年)

- 3月 11日 東日本大震災津波発生、岩手県災害対策本部設置
- 13日 県内の避難者数が最多の5万4,429人に(在宅含む)
- 4月 11日 「がんばろう!岩手」宣言発表
「岩手県東日本大震災津波復興委員会」発足
- 8月 11日 県内全ての応急仮設住宅が完成
県が「岩手県東日本大震災津波復興計画復興基本計画」を策定

▶ H24(2012年)

- 2月 10日 国が復興庁を設置し、盛岡市に岩手復興局、宮古市と釜石市に支所を設置
- 3月 11日 東日本大震災津波から1年、各地で追悼式などが挙行される
- 6月 14日 県内で初めて災害公営住宅の建設に着手(釜石市平田地区)
- 12月 10日 県内で初めて災害公営住宅への入居開始(大船渡市盛中央団地)

▶ H25(2013年)

- 3月 2日 JR大船渡線気仙沼～盛間でBRTによる運行開始
- 4月 1日 久慈市を舞台としたNHK朝の連続テレビ小説「あまちゃん」放映開始
- 5月 24日 「三陸復興国立公園」創設
- 7月 3日 「奇跡の一本松」保存事業完成式開催
- 9月 24日 県沿岸部を中心とした「三陸ジオパーク」が日本ジオパークに認定

▶ H26(2014年)

- 4月 5日 三陸鉄道南リアス線 吉浜～釜石間の運行再開により、全線において運行再開
山田町立船越小学校、被災校舎から移転・新築した新校舎での授業開始、被災3県で初
- 6日 三陸鉄道北リアス線 小本～田野畑間の運行再開により、全線において運行再開
- 12日 釜石線花巻～釜石駅間でSL銀河が営業運転を開始
- 8月 24日 復興道路「宮古盛岡横断道路(平津戸松草道路・区界道路)」の着工により県内の復興道路が全て着工

▶ H27(2015年)

- 3月 14日 「第3回国連防災世界会議」が仙台市をメイン会場に開催される
岩手県は「防災・復興に関する岩手県からの提言」を世界に発信(～18日)
「3.11東日本大震災遠野市後方支援資料館」が開所(遠野市)
- 7月 8日 釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録
- 12日 県内で初めて、仮設商店街が移転し本設としてオープン(大船渡市)
- 11月 22日 高台移転地の造成工事がほぼ完了した田老地区で「田老まちびらき記念式」を開催(宮古市)

▶ H28(2016年)

- 4月 11日 新「がんばろう!岩手」宣言発表
- 27日 県立大槌病院が再建、新築落成式を開催
- 8月 19日 県立山田病院が再建、新築落成式を開催
- 8月 30日 平成28年台風第10号により甚大な被害
- 9月 26日 被災した小・中5校を統合、県内初の義務教育学校大槌町立大槌学園の新校舎での授業開始

- 10月 1日 第71回国民体育大会「希望郷いわて国体本大会」を開催(～11日)
- 22日 第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」を開催(～24日)
- 11月 10日 山田町で共同店舗「オール」オープン

▶ H29(2017年)

- 4月 27日 陸前高田市に「アバッセたかた」オープン
- 29日 大船渡市に「おおふなと夢商店街」「キャッセン・モール&パティオ」「キャッセン・フードヴィレッジ」がオープン
- 7月 27日 全国知事会議が本県で開催、岩手宣言を採択(～28日)
- 31日 「水門・陸開自動閉鎖システム」運用開始
- 9月 23日 大阪府から無償譲渡されたガントリークレーンが供用開始(釜石市)
- 12月 8日 「釜石市民ホール(TETTO)」がオープン

▶ H30(2018年)

- 2月 16日 県立高田病院が再建、新築落成式を開催
- 3月 9日 県内で初となる内陸避難者向け災害公営住宅「県営備後第1アパート8号棟」が完成
- 30日 釜石港湾口防波堤の復旧工事が完了
- 6月 22日 岩手県初のフェリー航路「宮古・室蘭フェリー」宮古港から出航
- 8月 19日 釜石鶴住居復興スタジアムが完成、オープニングイベントを開催
- 12月 14日 陸前高田市立気仙小学校が再建、翌月落成式を開催
県内の被災公立学校86校の学校施設が全て再建

▶ H31/R1(2019年)

- 3月 9日 復興道路「三陸沿岸道路(吉浜釜石道路・釜石山田道路(釜石南～釜石両市))」、「東北横断自動車道釜石秋田線(釜石(釜石～釜石仙人峠))」供用開始(釜石市)
東北横断自動車道釜石秋田線的全線開通
- 23日 三陸鉄道「リアス線」全面開通
- 6月 1日 「三陸防災復興プロジェクト2019」開幕(～8月7日) ①
- 9日 「みちのく潮風トレイル」全線開通
- 30日 山田町で「山田町復興祈念まちびらき」開催
- 9月 22日 「東日本大震災津波伝承館(愛称:「いわてTSUNAMI(つなみ)メモリアル」)が開館 ②
- 25日 ラグビーワールドカップ2019™日本大会釜石開催のフィジー対ウルグアイ戦が釜石鶴住居復興スタジアムで開催 ③
- 10月 13日 令和元年台風第19号により甚大な被害
- 11月 5日 大槌町赤浜①団地災害公営住宅が完成により、県沿岸部の災害公営住宅全5,550戸の整備完了

▶ R2(2020年)

- 3月 20日 三陸鉄道リアス線が台風被害からの復旧により、約5ヶ月ぶりに全線運行再開
- 3月 22日 オリンピック競技大会の聖火に先立ち、「復興の火」として聖火が岩手に到着(～23日)(大船渡市・宮古市・大槌町・山田町) ④
- 5月 18日 三陸鉄道リアス線「新田老駅」開業(宮古市) ⑤
- 7月 12日 復興道路「三陸沿岸道路(宮古中央JCT～田老真崎海岸IC)宮古盛岡横断道路(宮古港IC～宮古中央IC)開通により、県内の三陸沿岸道路は田野畑村以南が全て開通



震災の記憶と復興の姿

① 地下水族科学館もぐらんぴあ



東日本大震災津波で全壊した地下水族科学館は、平成28年に元の場所で再開しました。「防災展示室あーすびあ」を整備し、発災当時の状況や復興のあゆみを紹介し、防災学習や視察にも対応しています。



② 普代水門



普代水門(昭和59年建設・高さ15.5m)と太田名部防潮堤(昭和42年建設)は、役場や普代分署などがある村中心部に津波を到達させることなく被害を最小限にとどめました。
 <施設に関する窓口>
 岩手県東北広域振興局 TEL: 0194-53-5990



④ 津波遺構たろう観光ホテル



高さ17メートルを超える津波の被害を受け、4階まで浸水、2階までは柱を残して流失したものの、倒壊を免れた「たろう観光ホテル」を津波遺構として保存整備しています。



⑤ 大槌町文化交流センターおしゃっち



大槌町の御社地エリアに建つ大槌町文化交流センターで、図書館や震災伝承展示の機能を備え、震災後の町の状況や復興の様子を伝えていくという役割も担っています。



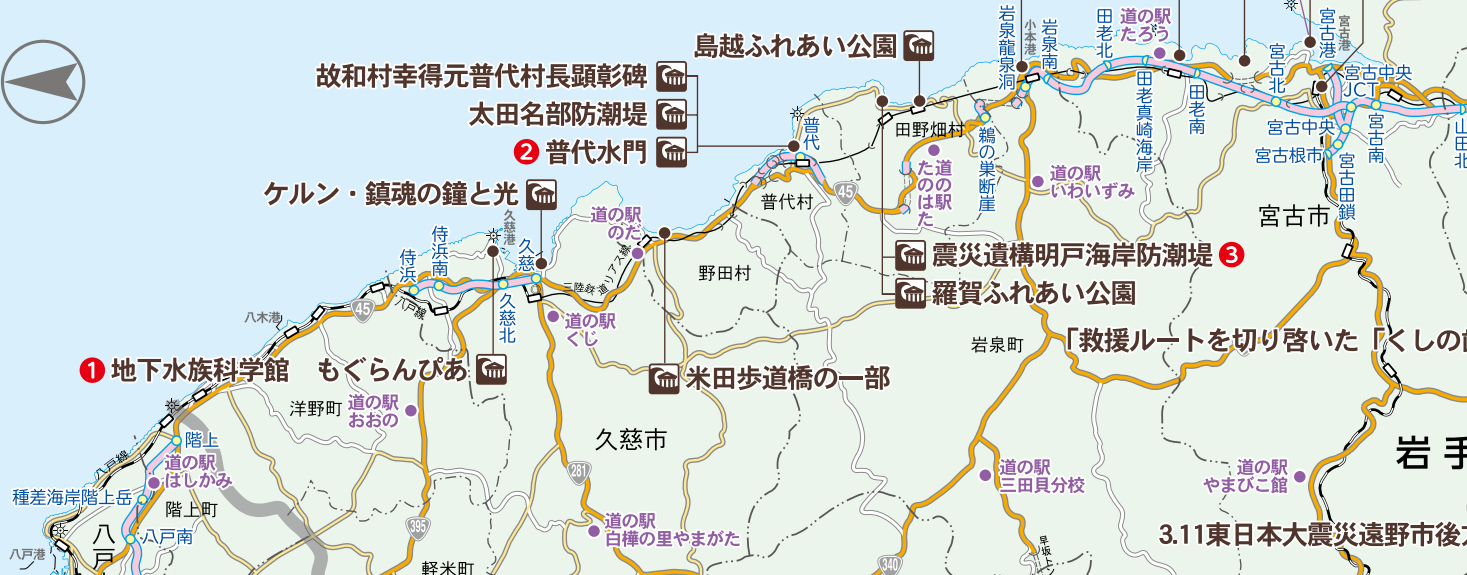
③ 震災遺構明戸海岸防潮堤



津波によって決壊した防潮堤が、被災当時の姿のままに保存されています。地元の住民ガイドが、「大津波語り部&ガイド」プログラムを提供しています。



震災伝承看板「子どもたちの命を救った避難階段(国道45号)」



まちなか再生計画に基づく商業施設の整備



被災したまちなかの商業施設の本格整備のため、「まちなか再生計画」に基づき、商業施設の整備と周辺のまちづくりが一体となって進められています。山田町では共同店舗オール、大船渡市ではキャッセン大船渡、釜石市では鶴住居にうのポート、陸前高田市ではアパッセたかたが完成しています。



復興道路等の整備



災害に強い道路ネットワークを構築するため、三陸沿岸の縦貫軸及び内陸部と沿岸部を結ぶ高規格幹線道路等を「復興道路」として整備を促進しています。



三陸鉄道リアス線誕生



三陸鉄道は、震災により甚大な被害を受け、全線が不通となりました。クウェート政府をはじめ、多くの企業、団体、個人から支援をいただき、平成26年4月に南・北リアス線全線で運行を再開しました。平成31年3月に旧JR山田線が経営移管され、国内の第3セクターとしては最長となる163km(盛-久慈間)が、新たに三陸鉄道リアス線として生まれ変わりました。



三陸防災復興プロジェクト2019



令和元年6月1日から8月7日までの会期とした三陸地域全体を舞台とする総合的な防災復興行事です。「三陸がつながる。日本各地や世界とつながる。ひとつになって更に前に進む」を基本コンセプトとし、復興の今と三陸の魅力を発信しました。



⑥いのちをつなぐ未来館・釜石祈りのパーク



大震災の出来事や教訓を後世に伝え、防災学習を推進する拠点施設で、釜石市内外からの来館者に有機的な防災学習体験プログラムを提供しています。釜石祈りのパークは「鶴住居地区防災センター」の跡地に「津波による犠牲をなくし、未来の命を守るために」を基本理念とし、東日本大震災の犠牲者を慰霊、追悼する施設として整備されました。



⑧東日本大震災津波伝承館いわてTSUNAMIメモリアル



先人の英知に学び、東日本大震災津波の事実と教訓を世界中の人々と共有し、自然災害に強い社会を一緒に実現することを目指すとともに、東日本大震災津波を乗り越えて進む姿を、支援への感謝とともに発信しています。



⑦大船渡市立博物館



東日本大震災津波での大船渡市の被害に関する企画展や、映像資料「荒れ狂う海～津波常習地・大船渡」を常設で上映しています。また、過去の津波の記録や歴史資料をまとめて展示し教訓として伝えています。



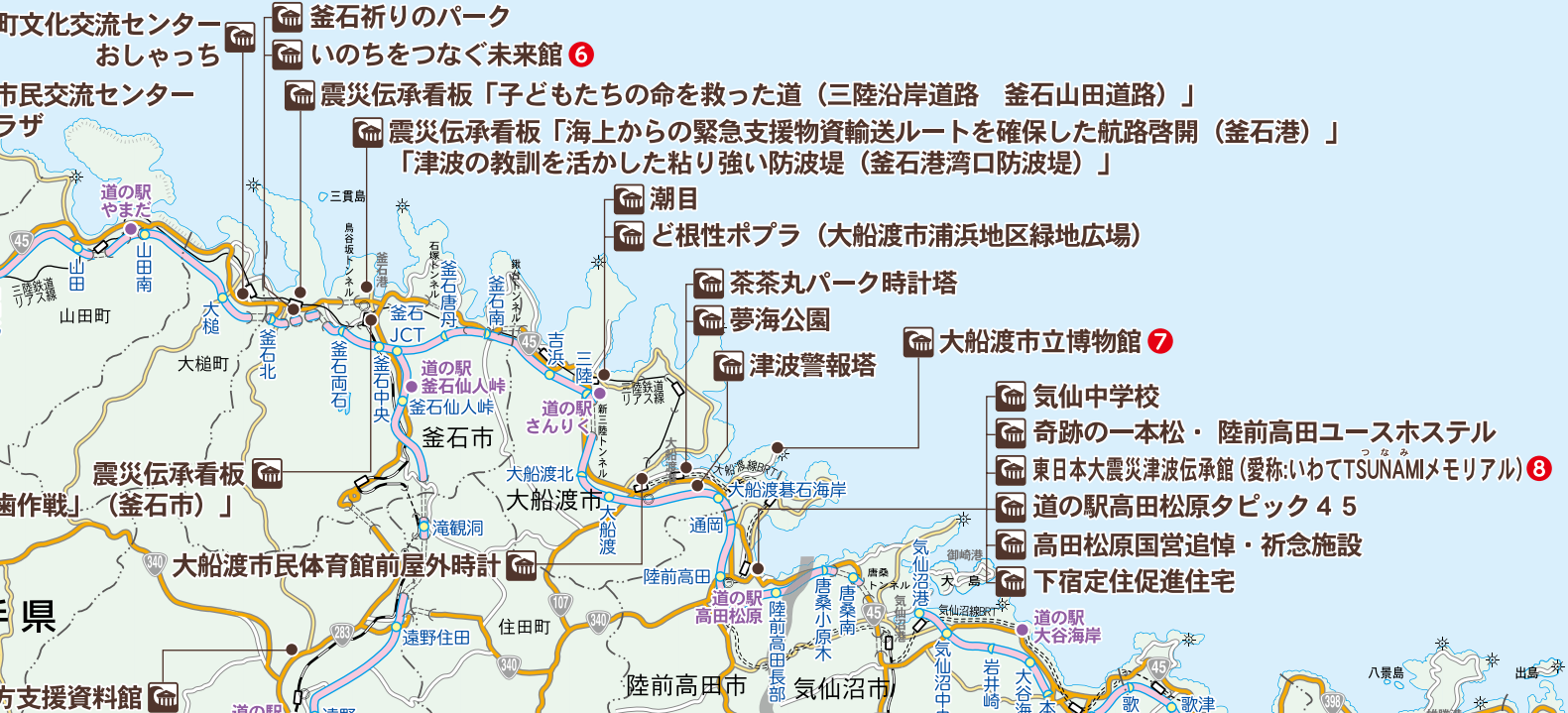
釜石鶴住居復興スタジアム、ラグビーワールドカップ2019™岩手・釜石開催



震災で被害を受けた旧鶴住居小学校、釜石東中学校の跡地に鶴住居復興スタジアムが建設され、ラグビーワールドカップ2019™が開催されました。震災当時、児童・生徒は、手に手を取り合って約2kmの坂道を駆け上がり、津波から逃れて避難したことは、次世代に伝える教訓となっています。



「海上からの緊急支援助物資輸送ルートを啓く（宮古港）」



海岸保全施設等の復旧・整備



復興まちづくりと防潮堤・水門の復旧整備は一体となって進められ、人命と財産を守るため専門家による知見を踏まえ、高さや配置を検討しました。また、震災時に水門、陸ごうの閉鎖作業に関わり多くの消防団員が犠牲となった事実を踏まえ、衛星回線を活用し、門扉の閉鎖などを自動で行う「水門・陸ごう自動閉鎖システム」の整備を進めています。



こころのケアの取組



被災者が安心して心豊かに暮らすことができるよう、生活支援相談員による見守り相談や、災害公営住宅等におけるコミュニティ形成の支援を行うとともに、こころのケアセンターによる専門的な相談支援を行うなど、被災者の皆さんの生活再建のステージに応じた切れ目のない支援に引き続き、取り組んでいく必要があります。



グループ補助金による中小企業等の再建支援



東日本大震災津波により被災した中小企業者などが一体となって進める施設・設備の復旧・整備を支援するため、「岩手県中小企業等復旧・復興支援補助事業」（グループ補助）を実施しています。



コミュニティ形成支援の取組



被災された方が恒久的な住宅へ移った後も安心して心豊かに暮らせる生活環境を実現することが求められていることから、住民相互のコミュニケーションを維持するとともに、地域の結束力が更に強まるよう復興のステージに応じた地域コミュニティ活動の環境を整備していく必要があります。



災害公営住宅の整備



沿岸市町村及び県では、東日本大震災津波の被災者向け住宅として、比較的低廉な家賃で入居できる災害公営住宅を整備しています。沿岸部では建設予定全ての災害公営住宅が完成しています。また、令和2年度中には県内全ての災害公営住宅が完成します。



なりわいの再生



被災した漁船や養殖施設の整備が完了したほか、多くの被災事業所が事業を再開し、大型商業施設や共同店舗が開業するなど、復興は着実に進んでいます。一方で、水産業では水揚げ量の回復や担い手の確保、商工業では販路の回復や従業員確保といった課題があります。



三陸名産品等で楽しむ岩手

りあすぽーく“オンライン”マルシェのご紹介



岩手県沿岸部で起業等を行った事業者のインターネット販売サイトをまとめました。いわて三陸の空気感を味わいながら、のんびりとオンラインショッピングをお楽しみいただき、素敵な自宅時間をお過ごしください。

facebook



ポータル
サイト



お問い合わせ

岩手県復興局まちづくり・産業再生課 ☎019-629-6930

「買うなら岩手のもの」ポータルサイト開設のお知らせ



買って、食べて地域を元気に応援キャンペーン

ポータルサイトの閲覧や掲載の希望は
こちらのホームページからお願いします。
<https://katte-tabete-iwate.com>



岩手県は、新型コロナウイルス感染症の影響対策として、県民の皆様が県内の生産者や企業の商品を知って、消費していただくことで、地元生産者や企業を応援し、地域全体を元気にしていくためのキャンペーンを展開しています。

キャンペーンの一環として、県内外で活躍するライターやカメラマンなどの有志等で構成する「買うなら岩手のもの」総合サイト製作委員会がポータルサイトを制作・運用しています。

岩手県内の「買う」を応援するこのポータルサイトでは、店舗や生産者等の掲載登録を募集していますので、ぜひご応募ください。

また、「食」以外の店舗・施設などの情報も広く掲載されていますので、ぜひご覧ください。

お問い合わせ

岩手県商工労働観光部産業経済交流課 ☎019-629-5537

「買うなら岩手のもの」バーチャル物産展開催のお知らせ



詳しくは
コチラ！



岩手県産品の消費拡大に向けて、岩手県ではオンラインストアで岩手自慢の商品を販売する「バーチャル物産展」をオープンしました。豊かな自然が育んだおいしい食べ物や、岩手の風土に根ざした匠の技が光る魅力的な工芸品など、すべての商品を通常価格の3割引きで販売しています。

この機会にサイトにアクセスの上、岩手の県産品をお買い求めください。

【バーチャル物産展開催期間】令和3年1月29日まで(終了が早まる場合がございます。)

お問い合わせ

岩手県商工労働観光部産業経済交流課 ☎019-629-5537

あたりまえなど無い 全カゴ助けてくれた方 自衛隊の皆様にも 生きてくれて ありがとうございます 毎日思う 朝です ご支援 ありがとうございます。 復興はまだまだです。 頑張ります。 S.H.R.M

感謝を忘れない! みねんに感謝し時 感謝しありがとうございます

生きている今の自分に つながる人に感謝!!

今日を大切に 明日を大事に生きてます 皆のお返りする ありがとう

ご支援 ありがとうございます。 元氣をだしてあげたい

あつが9年いなりすが 今の味を忘れないに 感謝の気持ちもちながら 生きています。 ありがとう



復興支援 ありがとうございます

実際に被災した者です。あの時に全国からの支援は本当にありがたかったです。

確実に一歩一歩前へ進んでいる。あの日を決して忘れてはならない。
#iiiwate #三陸復興

たくさんの方に支えられ、無事成人を迎えられたい。感謝です!!

もう少しで震災から10年。毎年少しずつ変わっていく様子を感じていました。何気ない日常を送れることに感謝です。これからあの日を忘れず過ごしていきたいです。#iiiwate #三陸復興

あの海も忘れられない。そして、生かされたおちらに支援くださった皆様の思いも忘れずに。ありがとうございます

津波から助けた私達も暖かく受け入れて下さった方々。炊き出しを差し入れて下さった方々。一生忘れません!!

世界の皆々からの支援で助けてくれた。感謝! Thank you!

あの日がきっかけでDMATになりました。

味いもん

多くの人に見てもらい、みんなの人に感謝です。

生きていてくれてありがとうございます。兄も助けてくれてありがとうございます

いつまでも忘れません 助けていたこと。被災したこと。

おじいちゃん、おばあちゃんを守ってあげて。ありがとうございます。味から守って下さい

全国の御支援があったからこそ、今元気に日々仕事に励んでいます。感謝の気持ちを込めて ありがとうございます。

いつも読んで来られる読者から、お言葉に感謝致します。

人と人はつながっている。生きることの大ささを教えてくれてありがとうございます。

出典：#iiiwate 見つけて教えてキャンペーン2020、伝承館のデジタルメッセージボードに寄せられた内容、沿岸地域にお住まいの方々からいただいたメッセージ

これまでいただいた支援の状況 (令和2年7月末現在)

東日本大震災津波発災以降、国内外の皆様から多大なご支援や励ましをいただき、心より厚く御礼を申し上げます。

ふるさといわて応援寄付(ふるさと納税) 13億円

三陸沿岸振興、ラグビーワールドカップ2019™を契機とした観光客受入れ等基盤整備や国際リニアコライダーの実現など、岩手の施策を実現するための資金として活用させていただいております。

問合せ先》ふるさと振興部地域振興室 ☎019-629-5184

寄附金 197億円

被災者の生活支援や住宅再建支援、雇用確保や産業の復興に活用させていただいております。

問合せ先》保健福祉部保健福祉企画室 ☎019-629-5408

義援金 543億円

被災された方々の生活再建のために活用させていただいております。

問合せ先》復興局生活再建課 ☎019-629-6926

いわての学び希望基金 102億円

教育の充実のための奨学金、教科書や制服の購入費、修学旅行や部活動への参加経費など、被災地の子どもたちの「くらし」と「まなび」のために活用させていただいております。※いわての学び希望基金には、ふるさと納税からも一部が寄附されています。

問合せ先》復興局復興推進課 ☎019-629-6922

活動ボランティア受入人数 延べ568,884人

今後とも、被災者と被災地に寄り添うご支援を引き続きお願いいたします。

問合せ先》岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター ☎019-637-4483

復興が着実に進むよう、全力で取り組んで参りますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

いわて復興応援団(員)大募集中!

知って、買って、食べて、行って応援! [登録無料]

首都圏等にお住まいの方を対象に、岩手県の復興の取組や観光・物産・首都圏でのイベント情報などをお届けします。

いわて復興応援団 検索

いわて震災津波アーカイブ～希望～

約24万点の資料を検索・閲覧できます。



いわて震災津波アーカイブ 検索

写真提供: うのすまい・トモス事務局/大槌町/大船渡市/釜石市/久慈市/三陸鉄道/田野畑村/東北地方整備局/野田村/宮古市/山田町/陸前高田市 (五十音順・敬称略)

令和2年9月発行 | 企画・発行 岩手県 | 〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号

編集 川嶋印刷株式会社 【本冊子に掲載している写真・図表の転載・複製は固く禁じます】